

県立学校の地域学校協働活動の状況について

神奈川県立愛川高等学校

1. 学校概要

愛川高校は「地域連携」をキーワードに、愛川町からの支援と協力を得ながら、愛川町唯一の県立高校として昭和58年4月に開校した。大きな特色として、愛川町内の3つ中学校から連携性を募集する連携型中高一貫教育校であるなど、県内でも例を見ない地域密着型の県立高校であるとともに、地域に貢献できる有為な人材の育成を目指し、地域の協力のもと、学校運営を行っている。

2. 設置年

平成30年

3. 導入の経緯

愛川町では、小中一貫教育モデル事業を実施しており、さらに愛川高校と中高連携に取り組んでいた。また、「学校外の学修」のインターンシップ、ボランティアを支援することで、地域側から愛川高校の生徒の自己肯定感、コミュニケーション力の育成を目指し、地域学校協働本部「明日楓会」を設置した。

4. 主な活動

愛川町内の事業所や団体が生徒のインターンシップやボランティアの受け入れ先となり、体験活動をとおして、いろいろな大人と接する機会とする。

神奈川県立あおば支援学校

1. 学校概要

あおば支援学校は令和2年4月に開校され県立29番目の特別支援学校。小学部、中学部、高等部の3つの学部と肢体不自由教育部門と知的障害教育部門の2つの教育部門を設置している。

学校のミッションとして「子どもたち一人ひとりの確かな学びを支える」と「地域とともに歩み、地域に貢献する」の二つを掲げている。

学校教育の場として、障害のある子どもたちの教育に専門性の高い教育を提供し、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じて、確かな学びを支えていく。「地域貢献」の使命をしっかりと果たしていくため、児童・生徒、教職員が積極的に地域に出でいき、地域と関わり、貢献できるような活動を模索している。

2. 設置年

令和3年

3. 導入の経緯

あおば支援学校には地域との交流スペースが設けられており、地域と学校をつなぐ拠点となる。さらに、令和2年度から学校運営協議会の会長に文部科学省のCSマイスターで特定非営利法人まちと学校のみらいの代表理事である竹原和泉氏を据え、地域学校協働活動推進員の人選、地域との調整も整えた。

また、地域側も開校から、地域の力を貸すことに協力的な雰囲気があり、学校近隣の2つの

自治体からも学校運営協議会の委員に選ばれている。

4. 主な活動

保護者、教職員、地域コーディネーターによる熟議や花壇整備、地域貢献事業や地域の大学と連携した「桐蔭マルシェ」、防災授業など

神奈川県立平塚農商高等学校

1. 学校概要

令和2年4月に、平塚農業高等学校と平塚商業高等学校が再編統合しスタートした。学校目標の一つに「農業及び商業教育を通じて事項工程間を育み、それぞれの産業に従事することで豊かな地域づくりに貢献できる人材を育成する。」がある。

2. 設置年

令和4年

3. 導入の経緯

平塚市の城島地区との協働を念頭に、設置を進めた。平塚農商と城島地区とは、生徒が城島地区のイベントに参加するなど連携をしていた。持続的に地域の活性化や課題解決に向け、平塚農商高校と連携をしていきたいという城島地区の意向を受け、高校側の生徒の学びのフィールドとして城島地区を活用したいという意向もあり、県生涯学習課が高校と地区をつなぐ橋渡しを行った。

4. 主な活動

平塚市城島地区地域資源活用による交流型体験の里づくり事業として、きじまマルシェ、田植え・稲刈り、野菜植付・収穫などへの参加